

【月案】4月・3歳児

今月の保育のポイント

- 3歳になって初めて集団生活、園生活を経験する子どもも多くいる。家庭環境や兄弟関係などから、初めてでもすぐに遊べる子どももいれば、保護者と離れて過ごす不安を泣いてぶつける子どももいる。0歳児同様に受け止め、温かく関わる。
- カバンをかける、着替えるなど、身の回りのことを自分で行う生活にだんだんと馴染めるよう、自分の靴箱やロッカーが分かりやすいように配慮する。
- 集団生活に慣れるよう、家庭で呼ばれている呼び名で子どもを呼んでみたり、ゆったり過ごせる場所を保障したり、家庭で馴染んでいるものを使いながら、子どもの不安に寄り添って関わる。
- 春の自然に親しんで遊べるよう、園庭の花や身近な動植物に触れ、水をあげたり世話を楽しく行っていく。

月のねらい

- 自分の荷物の置き場所や物の場所などを知り、生活の流れを覚える。
- 新しい環境に慣れ、安心して過ごす。
- 友達や保育者に親しみ、一緒に過ごす楽しさを感じる。
- 春の生き物や草花に触れ、自然に興味関心を持つ。
- 身の回りのことを自分でやろうとする。
- 進級園児、新入園児の思いを受け止め、安心して過ごせるようにする。
- 体調に留意し、健康に過ごせるようにする。
- 体を動かして遊ぶ心地よさを感じる。
- 新しい環境の中、自分が好きな遊びを見つけて遊ぶことを楽しむ。
- 身近な素材に触れながら遊ぶことを楽しむ。

週のねらい

その1

- 1週目：物の場所や自分の棚などを覚え、生活の流れを知る（養護）
- 2週目：遊びを通して保育者やクラスの友達と関わり、親しみを持つ（教育）
- 3週目：戸外で思いっきり身体を動かす心地よさを感じる（教育）
- 4週目：春の生き物や花に触れ、遊びに取り入れて遊ぶ（教育）

その2

- 1週目：自分のロッカーやマーク、道具や玩具の片付け場所などを知る（教育）
- 2週目：進級した事に喜びを感じ、新しい友だちや環境に慣れ安心して過ごす（養護）
- 3週目：保育者や友達と遊びを通して楽しく過ごす（教育）
- 4週目：園での生活の仕方がわかり、安心して過ごす（養護）

その3

- 1週目：一人ひとりの期待や不安等の気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにする（養護）
- 2週目：好きな遊びや興味のある遊びを見つけて楽しむ（教育）
- 3週目：身近な素材を使って製作することを楽しむ（教育）

- 4週目:簡単なルールがある遊びを楽しむ(教育)

その4

- 1週目:自分の思いを言葉にして伝え、受け止めてもらいながら安定して過ごす(養護)
- 2週目:体調の変化に留意し、新生活を健康に過ごせるようにする(養護)
- 3週目:新しいクラスの生活リズムに慣れる(養護)
- 4週目:端午の節句に興味を持ち、鯉のぼりや五月人形を見たり、歌をうたったりする(教育)

前月末の子どもの姿

養護(生活)

- トイレでの排泄に成功する子どもが増えてきている。
- 自発的に着替えを行おうとする姿がある子どももいるが、着替えるのを嫌がる子どももいる。援助が必要な子どももいれば、自分で全て着替えられる子もいるなど、個人の差が大きい。
- 自分の思いを簡単な言葉で表現し、相手に伝わると嬉しそうにしている。
- 進級を心待ちにし、期待を持って楽しみに過ごしている。
- スプーンやフォークなどの持ち方が安定し、少しずつうまく使えるようになってきている子どもが多い。
- 食事を完食したことを喜んだり、苦手な物も食べてみようとする。
- 「～したよね」と過去の出来事を振り返ったり、経験したことを話す。
- 新しい保育室での生活が始まり、期待する一方で戸惑う様子も見られた。
- 上着のファスナーに挑戦し、「自分でする」と諦めずに取り組む。
- 食後の食器の片付けに意欲的に取り組んでいる。

教育(遊び)

- 遊びや活動を通して友達と関わることを楽しんでいる。
- 友達とトラブルがあった際には言葉で伝えられず、手が出てしまったり泣いたりすることもある。
- 室内にある様々な玩具に興味を持ち、イメージを膨らませながら夢中になっている。
- 寒い中でも身体を動かして遊ぶことを喜び、戸外遊びや散歩を楽しみにしている姿がある。
- 好きな遊びを繰り返し行う子どももいれば、様々な遊びに興味を持ち代わる代わる遊びを変えながら遊ぶ子どももいる。
- 春の自然や生き物に興味を持っている。
- 繰り返し遊んでいる集団遊びを覚えて、楽しむ姿が見られている。
- 園外に好きな場所があり、「○○見に行く」「滑り台する」と言葉にする。
- 歌をうたったり、踊ることを楽しんでいる。お気に入りの曲がある。
- ハサミやのりを使った製作を喜んでいた。

活動内容(五領域対応)／環境構成と援助

養護(生活)

- 活:玩具やコップ置き場、荷物を入れる棚などの場所を覚え、自分で身の回りの支度をしようとする。
(健康)
環:子どもが自分の棚や靴箱などを覚え、自分で身支度などできるように環境を整えておく。そのために、事前に個々のマークやシールなどを決め、それぞれの場所に見えるように貼っておくようにする。

また、みんなで共通して使用する玩具の場所や絵本の棚などもマークをつけ、子どもが片付けなどしやすい工夫をする。

- 活: トイレで排泄が成功する喜びを感じ、自分の行きたい時に行こうとする。(健康)
環: 排泄が自立している子には後始末の仕方まで自分でできるように援助していく。まだ排泄が自立していない子はタイミングよくトイレに誘い、トイレでできた喜びが感じられるようにしていく。
- 活: 食事の際にはスプーンやフォークの持ち方に気をつけたり、立ち歩かないで食事をするなどマナーを守ろうとする。(健康)
環: 食事マナーや約束を繰り返し伝えることで、子どもが覚えられるようにする。
- 活: 上着の着脱や着替えを、自らやろうとする。(健康)
環: ロッカーなど、自分の持ち物がある場所や順序をやさしく伝え、安心して生活を送れるように援助をする。
- 活: 保育者と話し関わりを深めながら、親しみをもって保育園生活に慣れる。(健康・人間関係)
環: 泣いている子やどうして良いか分からず固まっている子などに手をつないでゆっくり話しかけたり、遊びに誘うなどして一緒に過ごし、安心して生活が送れるようにする。
- 活: 園生活の中で日常の挨拶をし、簡単な約束やルール、マナーを守る。(健康・人間関係)
環: ひとりひとりの名前を呼び、温かくあいさつをし、触れ合う等のコミュニケーションを取りながら安心して過ごせるようにする。トイレに行く時、遊び始める時、場面が変わる直前にルールを話すようにし、子どもが場面と決まりを一致させられるようにする。
- 活: 園生活に親しみをもち、落ち着いて生活をする。(健康・人間関係・環境)
環: 生活する順序や場所が分かりやすいように、絵で示しておく。トラブルの際は良い、悪いではなく、互いの気持ちを汲み取れるように話をする等、保育者が拠り所となり、落ち着いた生活の空気を環境から作っていく。
- 活: 新しい環境や新しい友達との出会いを喜ぶ。(健康・人間関係)
環: 一人ひとりにインタビューをする中で友達への興味に繋げ、友達が増える喜びや親しむ気持ちに繋げていく。
- 活: 自分の思いを言葉にしたり、経験したことを話そうとする。(言葉・人間関係)
環: 子どもが伝えようとする姿を受け止め、時間がかかっても温かな目線で待ち、聞いてもらえたという安心感や喜びに繋げる。
- 活: 新入園児、進級児ともに新しい生活リズムに少しずつ慣れる。(健康)
環: 生活の仕方が変わり、戸惑ったり、変化に対応しようとする姿を受け止め、生活の仕方をその都度丁寧に伝えていくことで安心感に繋げる。
- 活: 不安や戸惑い、嬉しさ等を受け止めてもらい、安定して過ごす。(健康)
環: 言葉や言葉にできない思いを汲み取って代弁し、寄り添いながら情緒の安定や保育者との信頼関係に繋げていく。
- 活: 友達と食事をする中で食事に対する意欲が高まる。(健康)
環: その日によって食べる場所やグループを変えたり「皆でご飯食べられて嬉しいね」と言葉かけしながら友達と食事をする喜びに繋げる。又、友達が食べる姿を見て苦手な物を食べてみようとする気持ちに繋げる。
- 活: 安心した気持ちで友達と一緒に眠る。(健康)
環: 「皆でお昼寝して体を休めようね」と安心して体を休められるよう働きかける。環境に慣れず中々寝付けない時は、側についたり、体をさすったりしながら安心して入眠できるよう関わる。
- 活: 鯉のぼりや五月人形を見たり、製作を通して端午の節句に興味を持つ。(環境)
環: 気付きを受け止めながら端午の節句の由来について分かりやすく知らせ、興味や理解に繋げる。

教育(遊び)

- 活: 自分のしたいことや保育者にして欲しいことを言葉で表現して伝えようとする。(言葉)
環: 言葉で思いを伝えようとする子どもの意欲を認め、必要に応じて代弁しながら伝える満足感を味わえるようにする。

- 活: 友達がやっている遊びに興味を持ち、関わって一緒に遊ぶ楽しさを味わう。(人間関係)
環: 保育者や友達に親しみが持てるよう、関わりながら遊べる時間が持てるようにする。ひとりで過ごしたり遊びこむことを好む子どももいるので、無理な関わりにならないように注意しながら援助していく。
- 活: 春ならではの自然に興味を持ち、触れたり遊びに取り入れたりしようとする。(環境)
環: 草花を使ったおままごとを展開をしたり、生き物を捕まえて観察するなど、子どもの発見や興味の方向に合わせた環境と援助を用意しておく。
- 活: 運動遊びや戸外遊びを通して、身体を思いっきり動かす心地よさを感じる。(健康)
環: 子どもが伸び伸びと身体を動かせるよう、広い部屋や戸外を使って運動遊びを行うようにする。怪我にならないよう環境の整備を事前にしっかりとしておく。
- 活: はさみやのり、マジックなど、製作に必要な物の使い方を知り、約束を守って安全に使う。(表現)
環: はさみやのりなど、家庭によって子ども自身が使用したことのない場合もある。事前に正しい使い方や危険性を伝え、怪我や事故のないように充分注意する。また、手先が器用に使えない子どもは物の扱いに苦戦することもある。個別に援助できるよう、少人数で行うなど進め方も配慮を欠かさないようにする。
- 活: 簡単なルールのあるゲームや集団遊びを楽しむ。(人間関係・表現)
環: 簡単なゲームやリズム遊びなどを一緒に行い、身体を動かしながら集団での一体感を味わえるようにする。
- 活: 表現遊びに参加し、身体を動かすことや絵画活動を楽しむ。(表現)
環: 内容が分からず困っている子や、参加しながらいない子には、実物を目の前で見せたり、少し触れる環境を用意するなど、スモールステップを用意する。参加が難しい場合は無理強いせず、子どもの気持ちを尊重する。
- 活: 好きな場所や遊びを見つける。(健康)
環: ひとりひとりが満足して遊べるよう、机上遊びとその他の区別や、コーナーやおもちゃの所在を分かりやすく揃える。遊び方を理解して楽しめるように使い方を伝えていく。
- 活: 自分のイメージをブロックや粘土、お絵描き等で表現することを楽しむ。(表現)
環: 十分な時間設定を行い、満足感に繋げる。自由な表現を受け止め、大いに認めることで喜びや表現する楽しさに繋げる。
- 活: 友達と一緒に身近な大人や好きなキャラクターになりきってごっこ遊びをする。(人間関係・表現)
環: なりきる様子を温かく見守りながらも気持ちが高まって怪我に繋がりそうな時は、一度声をかけて気持ちを落ち着かせていく。
- 活: 言葉で貸し借りや順番、交代のやりとりをしようとする。(人間関係・言葉)
環: 言葉にできたことや貸し借りができたことを認め、友達との関わり方に自信が持てるようにする。必要に応じて互いの気持ちを代弁しながら仲立ちをする。
- 活: 絵本や紙芝居に親しみ、読んでもらったり、見ることを楽しむ。(環境)
環: 集中して見れる長さの物語、はっきりとした絵の本、言葉の楽しさを感じられる絵本等を用意し、様々な絵本や紙芝居に触れられるようにする。
- 活: 春の自然を発見し気付いたことを保育者に知らせる。(言葉・環境)
環: 発見を受け止め、クラス全体で共有したり、発見をもとにクラスで春のマップを作りながら、自然への興味関心に繋げる。
- 活: 散歩に出かけ、園外で過ごす楽しさを感じる。(健康・環境)
環: 交通ルールや公園の遊具の使い方を繰り返し伝えながら、園外で過ごす楽しさに共感していく。
- 活: 春の製作や端午の節句に向けた製作を楽しむ。(環境・表現)
環: 完成品を用意しておくことで意欲を引き出し、自由に表現する姿を認めながら1つの作品が完成する喜びに繋げる。
- 活: 身近な物、新しい玩具や遊具等に興味を持ち、積極的に関わって遊ぶ。(環境)
環: 周りの物に対する興味や積極性を大切にしながら見守り、気持ちを育てていく。必要に応じて遊ぶ際の約束事を伝える。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 新しい環境の中で情緒が不安定になり、体調を崩す子どももいる。一人ひとりの普段の様子をよく観察し、無理して過ごしていないか体調が悪くなっていないかなど注意してみる。
- 慣れない園内で危険箇所や危ない行動など知らない子どももいる。安全な遊び方や過ごし方を知らせ、みんなで確認しておく。また、繰り返し伝えていくようにする。)
- 前担任から1日の流れや子どもの情報等を引き継ぎ、安全な保育を行う。
- アレルギー児が誤食したり、除去食に触れてしまわないよう担任間や園全体で給食提供について十分な話し合いを行っておく。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- 似顔絵フラワー／イースターバスケット／輪っかであおむし

歌

- せんせいとおともだち／おつかいありさん／めだかのがっこう

絵本

- わたしのワンピース／かばくん／そらはさくらいろ

手遊び

- キャベツの中から／ピクニック／さかながはねて

室内室外遊び

- かんたんブーメラン遊び(外でも使えるよ)／お尻競争／春をあつめよう

行事

- 入園式
- 身体測定
- 避難訓練
- 誕生会
- 個人面談
- 全体懇親会
- エイプリルフール(4/1)
- 花まつり(4/8)
- イースター(4/20)
- 恐竜の日(4/17)
- 昭和の日(4/29)

食育

- 友達と一緒に楽しい雰囲気の中で食事をする。
- 春の野菜や果物に触れ、食べ物への興味、関心を持つ。
- 食事の前後は挨拶をしたり、手や口を清潔にする。
- 自分で食事をする喜びを感じる。

異年齢保育

- 新しい環境への不安を受け止め、年上の友だちと一緒に名前を呼んで話しかけ、親しめるように関わる。
- 年上の友だちに案内されて保育室の探索を楽しむ姿を見守り、子ども同士のやり取りを見守る。
- 年下の友だちに玩具を貸す姿を認め、「ありがとう、嬉しいよ」と相手の思いを代弁して伝える。
- 散歩の際に異年齢の友だちと手をつなぐ際は、歩幅の違いに注意し、安全に配慮しながら見守る。
- 年上の友だちと一緒に楽しく食べる姿を見守りながら、少しずつ食具の持ち方やマナーを伝えていく。

職員間の連携

- 進級児の生活面の様子や自立具合、必要な援助などの情報を、前年度の担任から正確に引き継ぐ。
- 新入園児の個性や家庭での生活、アレルギーなどの情報を園全体で共有する。
- 全体から遅れてしまう子どもの援助に回る職員を決め、一人ひとりが安心して過ごせるようにする。
- 子ども自身が身の回りの始末をしやすいような環境構成について意見を出し合い、改善していく。
- 家庭からの意見や相談を職員間で共有し、適切な対応や助言ができるようにする。

地域と家庭との連携

- 進級する家庭に対しては、進級にあたり変わるものや準備してもらうものを事前に伝えておく。入園する家庭に対しては、1年間の行事予定や活動内容、準備物などを出来る限り詳しく伝え、入園に対する不安を軽減できるようにする。
- 日々の子どもの様子を保護者にこまめに伝え、コミュニケーションをしっかりとるように心がける。
- 新しい環境で不安定になったり疲れたりする子どももいるため、家庭でのサポートに協力してもらえるように関係を築いていく。
- 進入園児に関しては、アレルギーや持病の有無などをしっかりと確認し、給食や何か異変があった時の対応の仕方を共通認識しておく。
- 個人面談では日々の生活の様子を動画や写真で具体的に伝えて安心感に繋げる。
- 進級や入園、転園に対する不安な気持ちに寄り添い、安心して園生活を送れるよう丁寧に関わりながら信頼関係を築いていく。
- 担任間で子どもの様子を共有しておき、保護者に伝えていく。
- 散歩を通して地域の方と挨拶を交わし、コミュニケーションを図る。

長時間保育の配慮

- 日中の緊張感や疲れがやわらぐように、静かに絵本を読んだり、横になってくつろげるスペースを作る。
- 普段と違う場や人に対する不安を受け止めつつ、好きな遊びを見つけられるように関わる。
- 排泄面について担任から引き継ぎ、個々に合ったタイミングでトイレに誘う。
- 延長保育の部屋にある玩具への興味に寄り添い、一緒に遊びながら安全な使い方を示す。

- 子どもと一緒に持ち物の整頓を丁寧に行い、持ち帰り忘れや返し間違いを防ぐ。

自己評価

- 自分の棚や靴箱などを覚え、自ら進んで身の回りのことをしようとしていたか。
- 友達や保育者に親しみ、心地よく過ごすことができたか。
- 春の自然に興味を持ち、触れたり遊びに取り入れて親しむことができたか。
- 食事のマナーを守り、楽しく食事をすることができたか。
- 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえたか。
- して欲しいことやしたいことを、言葉で伝えようとしていたか。
- 一人ひとりの言葉や言葉にならない思い等を受け止め、安心して過ごせるようにしたか。
- 環境の変化による体調に留意し、健康に過ごせるようにしたか。
- 進級児、新入園児ともに園の新しい生活リズムに慣れたか。
- 一人ひとりが好きな遊びや場所を見つけて安定して過ごせたか。
- 体をのびのびと動かして遊べるような保育を行ったか。
- 保護者と園や家庭の様子を共有したり、保護者の不安や悩みに寄り添いながら信頼関係を築く努力をしたか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー&ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

